

▶ 項目の解説

待機的外科手術では、予め患者自身の血液を採取し、手術時に使用することができます。自己血輸血の最大の利点は同種血輸血を回避することであり、感染症を含む種々の副作用を防止することができます。

自己血貯血を行う場合には、採血に伴う副作用など十分な説明を行い患者の同意を得ることが必要です。安全に採血を行うには、診療科との連携および、部内での製剤化と保管などの管理体制も重要になります。

中央診療部門として、自己血貯血を行う体制やスタッフの充足度を評価します。

▶ 定義

年間の自己血製剤使用数です。

コメント

自己血貯血患者数は年々増加しており、それに合わせて看護スタッフの応援体制の整備、製剤化業務の分業化などを行い、安全な自己血採血および製剤管理に努めています。

